

一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会
第 39 回 LLW 放射能評価分科会議事録

1. 日時： 2019 年 2 月 4 日（月） 13 時 30 分～14 時 30 分

2. 場所： 原子力安全推進協会 B 会議室

3. 出席者（順不同，敬称略） 開始時

（出席委員） 川上（主査），北島（幹事），根本，泉田，松居，田中（雄），田辺，亀尾，
見上，三宅，伴場，中瀬，池戸（13 名）

（代理出席委員） 柏木，荻野（2 名）

（欠席委員） 高橋（副主査），相澤，吉岡（3 名）

（常時参加者） 林^(隆)，梅原，漆戸，乾，宮田，林^(宏)，本山，竹内（8 名）

（欠席常時参加者） 古田，脇，石屋，柏木，中野（5 名）

4. 配付資料

F10Ph2SC39-0 第 38 回 LLW 放射能評価分科会 議事録案

F10Ph2SC39-1 公衆審査の結果について

F10Ph2SC39-2-1 “中深度処分対象廃棄物の放射能濃度決定方法の基本手順:2017” 標準の転載許
諾対応のための改定について

F10Ph2SC39-2-2 標準活動基本戦略タスク幹事会指示事項の対応スケジュール

F10Ph2SC39-3 「LLW 放射能評価分科会」の審議の基本計画

F10Ph2SC39-参考 1 LLW 放射能評価分科会(F10Ph2SC)委員名簿

F10Ph2SC39-参考 2 LLW 放射能評価分科会(F10Ph2SC)の基本工程

F10Ph2SC39-参考 3 中深度処分対象廃棄物の放射能濃度決定方法の基本手順

5. 議事

(1) 出席委員の確認

北島幹事より，開始時点で委員 18 名中 16 名の出席があり（代理出席含む），決議に必要な委員
数(12 名以上)を満足している旨報告があった。

(2) 前回議事録案の確認

北島幹事より，前回分科会の議事録案について説明があり，承認された。

(3) 公衆審査の結果について

北島幹事より，L2L3 放射能標準の公衆審査の結果，意見がなかったことが報告された。3 月に開
催される次回標準委員会にて制定決議の見込みであることが報告された。

(4) L1 放射能標準の改定について

柏木代理委員より，L1 放射能標準（制定決議済）の転載許諾手続きの中で，標準活動基本戦略タスク幹事会より，ISO 関係の引用に伴うロイヤリティ支払いが無いように，附属書（参考）を改定することとの指示が出されたため，この改定内容に関して説明があり，分科会で審議を行った結果，改定内容は次のコメントを反映することで承認され，原子燃料サイクル専門部会に諮ることとなった。

- ・ 「トレーサビリティが可能なように」は，日本語としておかしいため，前のように「トレーサビリティが得られるように」としてはどうか。
→ 拝承
- ・ 誤記（ライフブラリ，中性条件，引用符号“ ”の前抜け，N.1 d) 抜け）は，修正（ライブブラリ，中性子条件など）すること。
→ 拝承

（5）標準改定の全体計画

北島幹事より，LLW 放射能評価分科会の基本工程について，説明がなされた。L2L3 放射能標準は，3 月の標準委員会にて制定決議される見込みである。L1 放射能標準は，転載許諾対応のための改定案が了承され次第，発行手続きに移行する。

以 上